

平成26年度外部評価結果 反映状況報告書

平成26年8月21日、8月22日及び10月10日に開催の行政改革推進委員会において実施した「行政評価の外部評価」について、その評価結果及び委員からの御意見等に対する評価対象事業への反映状況は次のとおりです。

【評価対象事業（担当課）】

- ① いなざわ植木まつり事業（経済環境部農務課）
- ② スポーツ大会運営委託事業（教育委員会事務局スポーツ課）
- ③ 交通安全対策事業（総務部総務課）
- ④ いなッピー活動事業（経済環境部商工観光課）
- ⑤ 文化財保護事業（教育委員会事務局生涯学習課）
- ⑥ 介護予防事業（福祉保健部高齢介護課）

事務事業名	いなざわ植木まつり事業	
担当	経済環境部農務課	
外部評価結果		
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の趣旨には納得できるため、今後も実施してほしいと思うが、「来場者アンケートの実施」や「PR戦略の再考」など、実施面での更なる努力をお願いしたい。【B評価】 ・ 歴史がある事業であり、来場者数も毎年増加傾向にあるため、今後も事業を進めることが適当であると思う。ただし、来場者のニーズを把握して、考慮することも必要であると思う。 また、売上金のみこだわりのではなく、文化的な提案もできれば、稲沢の良いPRになると思う。【B評価】 ・ 植木まつり事業の内容としては、このままで良いと思う。むしろ、来年度から運営方式が「実行委員会方式」へシフトすることが心配である（2年後には、植木まつりがなくなってしまうのではないかと心配している）。 「後継者が育つ農業」という観点では、植木まつり以外の取組みが必要である。【B評価】 ・ 後向きな評価としての「C評価」ではない。本事業をより良いものにするため、大きな改革に取り組んでほしい。【C評価】 	

事業担当課回答	
平成26年度予算	4,273千円
平成27年度予算	5,417千円
事務事業への反映状況、検討内容等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢市と植木生産振興会による共催の運営方式を改め、平成27年2月12日付けで実行委員会方式による運営に移行した。 今年4月の植木まつりについては、運営方式の変更後、初めての開催となり、平成27年度予算額はイベント内容の充実（稲沢市PR大使「LOVE♥INA30（ラヴィーナ・サーティ）」のライブ開催）や委託内容の見直し（誘導員の増員）等によって増加している。 ○平成27年度植木まつり実行委員会負担金 5,000千円 ・ 植木まつり開催期間中に「来場者アンケート」を実施する予定である。
今後の方針、実行計画等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実行委員会方式を導入したことにより、柔軟かつ効率的な運営が可能になったため、新たな催し等を企画・実施し、イベント内容のより一層の充実を図っていく。 また、各種企業・団体等から植木まつりの協賛金を募ることにより、市の負担額の軽減を図っていく。 ・ 植木まつり開催期間中に実施する予定の「来場者アンケート」を集計・分析し、来場者のニーズを把握することで、市のPRに必要な戦略を構築する。
<p>【参考：評価区分】</p> <p>「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である</p> <p>「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である</p> <p>「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である</p> <p>「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である</p>	

事務事業名	スポーツ大会運営委託事業	
担当	教育委員会事務局スポーツ課	
外部評価結果		
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の対象者として、競技者だけでなく、その周辺や市民全体を巻き込んだイベントとすることによって、より多くの市民の参加意欲を高めるべきではないかと思う。【B評価】 ・ 「指導者の育成」という観点では、地域で活動している各スポーツ団体のネットワークを構築し、情報交換を行い、各々抱えている問題を協力して解決し、合同の練習や研修、指導者を共有する機会を増やすと良いと思う。 また、今後は市民が参加しやすい難易度の低いスポーツ（種目）の導入も考えていくと良い。【B評価】 ・ 業者へ大会運営を委託する際に、広報や運営に係る諸々を協議できる環境が大切であると感じた。【B評価】 ・ 「一人でも多くの市民が楽しくスポーツができるよう普及拡大に努める」という施策目標を達成するにあたって、その方法が大会方式であることに疑問を感じる。一般の方が参加しやすい事業を広げるほうが良いのではないか。【C評価】 	
事業担当課回答		
平成26年度予算	11,500,000円	
平成27年度予算	11,500,000円	
事務事業への反映状況、検討内容等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の委託先である稲沢市体育協会に対し、「市民体育大会の各競技の部門増設の検討」及び「指導者の人材育成」を依頼した。 新たに増設を依頼した部門は、中学生を対象とした部門設置であり、「ジュニア選手の強化育成」及び「その関係者にスポーツに対する関心を深めてもらうこと」を目的としている。ジュニア選手の家族、友人、知人等の関係者に応援に来てもらうことより、スポーツへの興味や関心を深めることで、競技スポーツや生涯スポーツへの啓発効果も期待できると考えている。 ・ 市民体育大会以外においても、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々にスポーツに親しんでもらえるようなスポーツ教室を各種開催しているが、市民が参加しやすい新たなイベントの開催についても検討中である。 	

<p>今後の方針、実行計画等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が気軽に参加できる新たなイベントの開催を検討していくとともに、従来のスポーツ教室についても各年齢層のニーズに合った内容を検討し、随時見直しを図りながら開催していく。 ・ 各スポーツ団体のネットワークの構築については、現在も各小学校区単位で連絡協議会を設置し、体育館や運動場の割り振り、指導者間での情報交換等を実施しているが、さらに充実したネットワークが構築できるよう検討していく。
<p>【参考：評価区分】</p> <p>「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である</p> <p>「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である</p> <p>「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である</p> <p>「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である</p>	

事務事業名	交通安全対策事業	
担当	総務部総務課	
外部評価結果		
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細かな点に改善の余地はあるものの、本事業そのものの意義は誰もが認めるところであり、更なる実施効果の向上を目標にして、事業を推進してほしい。 また、常に改善の視点を持ち、交通事情の変化に対応した事業内容にしてほしい。例えば、自転車の走行マナーの悪化が目立つようになってきているため、自転車走行に係る啓発活動を行うなど、時代の流れをきちんと汲んだ上で、活動を展開していく必要があると考える。 市民目線だからこそ、前例踏襲となっている点を指摘できると思う。市民の視点や評価を活動の中に上手く取り込んでいける仕組みを構築し、計画的に実施していくことが望ましい。【B評価】 ・ 交通安全教室等の様々な活動がマンネリ化しないよう、市役所側の考えのみで企画を進めるのではなく、その活動に参加した方々、例えば、小学校や保育園の先生方の意見や反省点等も取り入れながら、事業を進めていくと良い。 活動毎の反省をしっかりと行い、それを踏まえて次年度の改善に繋げてほしい。【B評価】 ・ 本事業そのものは大変重要なものであると思うが、時代に合った事業内容になっているか、取組内容は適切かどうかを毎年検討していく必要があると考える。 そうした中で、例えば、婦人交通指導員の「婦人」という表記や、制服着用の考え方等については、明らかに見直しが必要であると考ええる。 また、地域が必要としている交通指導員の人数についても、毎年検討していく必要があるのではないかと。【B評価】 	
事業担当課回答		
平成26年度予算	11,889千円	
平成27年度予算	11,718千円	
事務事業への反映状況、検討内容等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の走行マナーの悪化に対しては、主要道路沿いに「自転車も交通ルールを守ろう」、「自転車に乗ったらあなたもドライバー」など記載した「のぼり」を立て、マナーの向上を図った。 ○のぼり作成費(90枚) 41,342円 	

<p>事務事業への反映 状況、検討内容等 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月10日に開催した「幼児交通安全カンガルークラブ意見交換会」にて、保育園の先生や保護者から意見や反省点等を聴取した。これらの意見を活かし、平成27年度からはカンガルークラブの会長の負担を軽減するため、会長会の開催回数を7回から5回に縮減することとした。また、小学校で行っている「交通安全教室」については、各学校から提出された意見や計画書に沿って実施する。
<p>今後の方針、実行 計画等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の予算を作成する段階で、その時代のニーズにあった事業計画を検討し、毎年見直しをかけていく。 平成26年に交通事故で亡くなった方は5人で、いずれも高齢者であった。その内3人は自転車乗車時に事故にあっている。 そのため、高齢者交通安全セミナーで実施する稲沢警察署による講話の中で、「自転車の正しい乗り方」に関する内容を盛り込んでもらうよう依頼していく。また、高齢者が集まる施設や老人クラブのイベント開催に合わせて、交通安全に関するチラシ等を作成し、啓発していく。 中学生や高校生については、自転車の走行マナーの悪化が目立っており、「正しい自転車の交通ルール」を学んでもらうため、パンフレットを作成し、啓発していく。 婦人交通指導員に関しては、現行の職務を見直し、「交通指導員」としての業務に移行していく。
<p>【参考：評価区分】</p> <p>「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である</p> <p>「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である</p> <p>「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である</p> <p>「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である</p>	

事務事業名	いなっぴー活動事業	
担当	経済環境部商工観光課	
外部評価結果		
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢市のPR大使として、さらなる活躍を期待する。併せて、いなっぴーの着ぐるみに入るアクターとしての職員の後継問題も検討してほしい（技術の伝承）。予算の増額にも期待する。【B評価】 ・ 市民や民間事業者との協働を、より推進できるようにしてほしい。いなっぴーの観光協会への移管も実現してほしい。いなっぴーグッズの充実や販売実績の向上に向けた取組みを充実させてほしい。【B評価】 ・ もう少しグッズの種類を増やして、いなっぴーの飴等が常時購入できるようになると良い。 また、一般の方々がもっと「いなっぴー（着ぐるみ、デザイン等）」を利用するように図っていただけると良い。【B評価】 ・ もっと知恵を出して、市のPRに努めてほしい。お金も使い、日本一を目指してほしい。そして、もっと商品を作り、売っていく。他市との「知恵くらべ」である（民間への委託もあり）。【B評価】 ・ 稲沢市のPR活動や経済効果を図るものとして、引き続き本事業を推進してほしい。 なお、市民や民間事業所等を積極的に活用する必要があると思うため、事業の運用方法を検討してほしい。【B評価】 	
事業担当課回答		
平成26年度予算	5,275千円	
平成27年度予算	3,954千円	
事務事業への反映状況、検討内容等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土日祝日のいなっぴー出演事業について、「アクター及びアテンドとして活躍したい」という志を持つ他部署の職員を募り、「いなっぴー応援団」を結成して活動を開始した（3月末時点で2人）。 ・ いなっぴーの所管を観光協会へ移管することに関しては、まずは観光協会の職員体制を整備する必要があるため、平成27年度以降に観光協会にて「観光に関する専門性を有する職員」が雇用されるよう働きかけていく。 また、いなっぴーのグッズに食品を加えることについては、賞味期限の問題を検討する必要があるが、グッズの充実及び販売実績の向上に向け、観光協会の職員体制の整備と併せて検討していく。 	

<p>事務事業への反映 状況、検討内容等 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度については、クリアファイルの作成、公用車のラッピング、着ぐるみ（2体）の新規作成等によって予算が増額していた。平成27年度については、サンバイザーの作成、ラインスタンプのデザイン制作、立体看板（2か所）の設置費用を新規で計上している。
<p>今後の方針、実行 計画等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「いなっピー応援団」を活用し、稲沢市の更なるPRに努めていく。 観光協会への「観光に関する専門性を有する職員」の配置について検討していく。 また、観光協会の職員体制が整備された段階で、いなっピーの所管を協会へ移管する。 市民や民間事業者との協働については、いなっピーのデザインの活用等を含めて、引き続き検討し、PRに努めていく。
<p>【参考：評価区分】</p> <p>「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である</p> <p>「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である</p> <p>「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である</p> <p>「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である</p>	

事務事業名	文化財保護事業	
担当	教育委員会事務局生涯学習課	
外部評価結果		
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の文化財は、稲沢市の顔として有効に活用してほしい。期待値は高い。市への来訪者や市民に知らせる努力もしてほしい。 また、文化財の市→県→国への指定区分の格上げと価値を上げる努力をお願いしたい（専門職の登用・活用）。【A評価】 ・ 施策目標から見ると、本事業は必要であると考えますが、事業の目的の1つである「市民に対するPR」が不十分であると思うので、改善が必要であると考えます。【B評価】 ・ 本事業に関心がない一般市民の方に、どうしたら関心を持ってもらえるのか。文化財のPRの仕方や公開回数の増加、文化財めぐり等を考えてほしい。【B評価】 ・ 本事業は地道な事業であると思うが、教育の観点からすると、小・中学校へもっと働きかけてほしい。子どもが日常的に関心を持つことが、一番重要であると考えます。 また、海外からのお客様を案内する場所がほしい。PRもお願いしたい。尾張国分寺跡周辺に整備する構想がある「(仮称)尾張国歴史館」にも期待している。【B評価】 ・ 稲沢市は歴史的に見ても、お寺等の歴史的文化財が多数存在しており、お寺めぐり等へのニーズも高いため、市が持つ文化財を積極的にPRし、観光客等の誘致を図るべきである。【B評価】 	
事業担当課回答		
平成26年度予算	352千円	
平成27年度予算	378千円	
事務事業への反映状況、検討内容等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度の「重要文化財公開 稲沢の文化財展」については、開催期間を例年（5日間程度）より長く設定し、平成27年10月27日から11月15日まで（16日間）荻須記念美術館にて開催する予定である。通常は拝観できない貴重な文化財を、市民や市外の方々に鑑賞していただく。 また、開催に当たっては、あらゆる手段でPRを行い、入館者の増加を図る。 	

<p>事務事業への反映 状況、検討内容等 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の指定区分の格上げについては、平成27年1月28日に県職員とともに文化庁へ赴き、文化財鑑査官から「国宝・重要文化財の新指定については、保存修理事業を実施する際に、調査官に調査・指導を依頼し、新指定への“きっかけ”を作ることが重要である」との教示を得た。 児童やその保護者に市の文化財に関心を持っていただくことを目的として、新たに小学生向けの文化財ノートを作成し、市内の小学3年生全員に配布する。
<p>今後の方針、実行 計画等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 尾張国分寺跡史跡保存整備事業については、平成35年度を目標年次として、保存管理計画の策定、史跡の追加指定、史跡指定地及び関連施設用地の買い上げ、基本設計及び実施設計の作成、公園整備の実施、尾張国歴史館・ふれあい広場（仮称）の建設を行う予定である。これらの実施に当たっては、市民（特に地元住民）を巻き込むような方策を推進していく。 海外からのお客様を含む観光客の誘致については、生涯学習課のみで解決できる問題ではないため、庁内関係各課と緊密な連携を図り、また、文化財の所有者、文化財ボランティアガイドや観光協会と意見交換を図り、お互いに協力し合う体制を形成していく。
<p>【参考：評価区分】</p> <p>「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である</p> <p>「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である</p> <p>「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である</p> <p>「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である</p>	

事務事業名	介護予防事業	
担当	福祉保健部高齢介護課	
外部評価結果		
委員会評価	B	事業の進め方などに改善が必要である
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防は必要な事業である。介護予防教室への更なる新規参加者を募る努力をお願いする。より多くの参加機会を設けてほしい(参加したくてもできない方や会場に来られない方へのケア、細かい配慮)。【B評価】 ・ 事業内容について、これまでの取組みは少なくとも維持するとともに、可能であれば、内容の充実を図ってほしいと考える(会場や参加スペースの問題もあることは理解している。 2次予防事業への新規参加者が増えるような仕組みを構築してほしいと思う。【B評価】 ・ 介護予防事業への不参加者を把握し、参加してもらえるような対応の仕方を考え、徹底してほしい。【B評価】 ・ 高齢化時代に住みよいまちとは、福祉の充実が一番であると思う。「転ばぬ先の杖」ではないが、これからも市民のために大いに活動してもらいたいと思う。 健康にいられるためのサポートは、仲間が多いことも重要である。積極的な働きかけを頼みたい。【B評価】 ・ 本事業の目的は妥当である。介護予防教室への新規参加者の増加を図るよう努力願いたい。 また、介護保険法の改正を踏まえて、事業の活性化が必要であるとする。【B評価】 	
事業担当課回答		
平成26年度予算	29,370,000円	
平成27年度予算	29,539,000円	
事務事業への反映状況、検討内容等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業に参加しやすい環境づくりの一環として、希望者には送迎付きで機能訓練教室を行うよう実施方法を改めるとともに、予防事業の普及・啓発方法について検討を行った(普及・啓発方法は平成27年度見直し)。 〔機能訓練教室参加者〕 平成25年度 52名 平成26年度 86名(10名の送迎利用含む) 〔予防事業全体の新規参加者率〕 平成25年度 66.5%、平成26年度 77.5% 	

<p>事務事業への反映 状況、検討内容等 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の予防事業への参加に係る実態把握として、基本チェックリストの内容を、地域別、事業参加希望の有無別、男女別、年代別、該当項目別（運動機能、栄養改善、口腔機能）等による集計・分析を進めている。 また、地域包括支援センターでの勧奨時に、事業への不参加理由を徴取して集計・分析を行った。 〔不参加理由結果〕 ①事業参加の必要がない（40.3%） ②身体的・心理的理由（26.2%） ③自己都合（20.6%） の順であった。この結果を踏まえて、今後の予防事業の普及・啓発方法について地域包括代表者会（12月開催）にて協議し、周知徹底の方法について検討を行った（平成27年度見直し）。
<p>今後の方針、実行 計画等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教室においてチラシを配布するなど、教室の内容以外にも広く介護予防に役立つ知識の普及・情報提供を行い、市民自らが介護予防に取り組むことができるよう努めていく。 ・ 地域包括支援センターにおける日頃の活動の中で、特に支援が必要と思われる方に対して個別的に周知するなど、予防事業の周知徹底方法を見直すことで事業の活性化を図り、高齢者サービスの向上を図っていく。 ・ 各教室修了者の自主グループ活動に対する支援を積極的に行うことで、平成29年4月に開始予定の新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施に向けた基盤整備を行っていく。
<p>【参考：評価区分】</p> <p>「A」・・・計画どおり事業を進めることが適当である</p> <p>「B」・・・事業の進め方などに改善が必要である</p> <p>「C」・・・事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である</p> <p>「D」・・・事業の廃止・休止の検討が必要である</p>	